



人口	世帯	(8月1日現在)
人口	188,868人	(前月比+112人)
世帯	58,224世帯	(前月比+19世帯)



災害時の給食訓練にも熱が入ります(酒匂川スポーツ広場)

備えあれば……

防災訓練を実施

「防災の日」の九月一日、酒匂川スポーツ広場を主会場に、警戒宣言の発令と地震災害の発生を想定した総合防災訓練が、県、県警、自衛隊等の協力と、自治会などの自主防災組織や小中学生など約五千人の参加により実施されました。

今年、津波対策訓練も加わり、山王海岸では小中学生などの集団避難訓練や、ヘリコプターによるサーファアの救出、輸送艦による救援物資の輸送訓練などを行いました。スポーツ広場では、仮設橋の設置や倒壊家屋・流出家屋からの救出、通信・電気・水道・ガスの復旧、市民参加の消火訓練が手際よく行われました。炎天下にもかかわらず、参加したみなさんは一致協力して見事な訓練を行いました。地震に対する心構えを新たにしました。

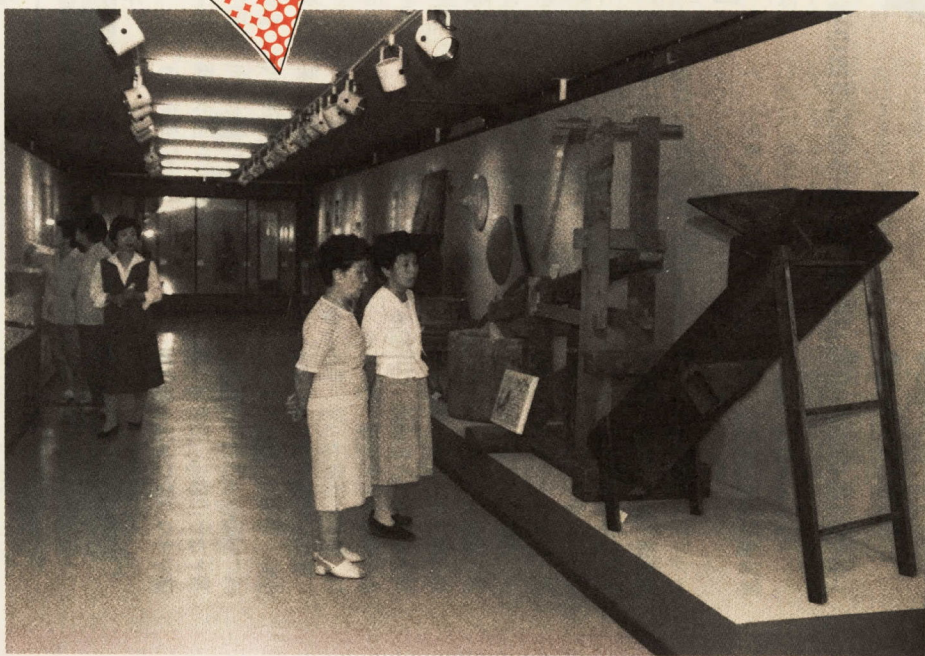
尊徳の遺業

むのんで…

～二宮尊徳生誕二百年記念事業～

尊徳生誕二百年記念事業の一つとして二宮尊徳遺業展が、尊徳生誕の日、九月四日から小田原城常盤木門と報徳博物館で始まりました。

農村復興をはじめ、多彩な分野で活躍したマルチ人間・尊徳の偉業については知られていない面も多いようですが、訪れた方たちは熱心に見入っていました。この遺業展は、スポーツレクリエーション広場で行われているイベント「えりど小田原」、天守閣の「ちようちん特別展」とともに来月十一日まで開催されます。この機会に是非、郷土の偉人尊徳の業績を紹介する遺業展をご覧ください。



尊徳の書や当時の農器具などが展示されています(常盤木門)

たて笛と打楽器のトレーニング

たて笛と打楽器で合奏団をつくって、演奏を楽しみましょう。

◆日程 9月20日(日)から来年1月まで毎月1回、日曜日に実施

◆時間 午前9時30分～11時30分

◆会場 図書館会議室

◆対象 小学校4・5年生

◆内容 たて笛、木琴、鉄琴、太鼓の合奏練習

◆指導 雨宮伊之助さん

◆募集人員 約20人(先着順に受け付けますので、お早めどうぞ)

◆申込み 図書館児童文化係(☎24-1055)へ来館して、お申し込みください

市民会館自主事業 舞踊劇

出雲の阿国

1,000人無料ご招待

市民会館では、市民文化の向上、文化行政推進の一環として、今秋、初めての市民招待公演会を、芸術院会員の吾妻徳徳さんを中心とした舞踊団「をどり座」を迎え、開催いたします。

演目は、有吉和子原作の舞踊劇「出雲の阿国」です。出演は、吾妻徳徳、泉徳右衛門、丹波哲郎、ホリヒロシなど、舞台やテレビで活躍中の俳優陣です。

◆定員 1,000人(定員を超えた場合は、抽選)

◆申込み及び問い合わせ 市民会館(〒250本町1-5-12) ☎7146

◆市民会館では、市民文化の向上、文化行政推進の一環として、今秋、初めての市民招待公演会を、芸術院会員の吾妻徳徳さんを中心とした舞踊団「をどり座」を迎え、開催いたします。

◆申込み方法 9月25日(金)までに、往復はがきの往信用に「出雲の阿国」、返信用に申込者の住所、氏名を記入し、市民会館までお送りください(一枚につき一人)

◆対象 小田原市に住民登録をしている16歳以上の方

◆会場 市民会館大ホール

◆日時 10月7日(水) 午後6時開演

名優が顔をそろえています。是非、ご観賞ください。

小田原市民会館自主事業第1回市民招待公演

どしどし市政に注文が

中学生と市長の話し合ひ会



八月二十五日、市内の中学生を対象に、市長と話し合ひ会が市役所で開催されました。参加者は、千一人、身近なことから市政にかかわる問題まで活発に意見が出ました。市長をはじめ教育長も「やかに応対して、とても和やかでした。具体的なことが話題になりましたので、その概要を、紹介します。(本文敬称略)

市長 今日は大勢参加していただき、ありがとうございます。みなさんが社会人になるころは、ちょうど二十一世紀になります。市は二十一世紀の小田原をもつと住みよくなるために、昨年「おだわら21世紀プラン」という総合計画を作りました。このプランでは将来の小田原のイメージを「歴史と文化の香る都市」と定め

ていますが、市はこういうまちを作るため、市民のみなさんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。

小田原市には、まちづくりに大変有利な条件が三つあります。一つは自然環境が大変優れているということ。山、川、海があり、しかも大変温暖です。二つ目は歴史文化に優れていること。小田原には長い歴史に培われた文化が残

運動施設をもっと増やして

土谷 僕は、スポーツが好きですが、小田原市は運動の出来る場所が少ないと思います。そういう場所を作る予定はありませんか。

図書館に中学生向けの本を

野口 図書館の本には児童書が多く、中学生向けの本が少ないと思います。文庫本でもよいので、私たちが中学生が借りられる本を揃えて欲しいと思います。

参加者の氏名(敬称略)

大浜浩一(片浦中)、森本晶子(片浦中)、伊藤洋行(酒匂中)、石井恵子(酒匂中)、椎名和生(白山中)、野口祐子(白山中)、古玉正純(城北中)、杉崎正和(城北中)、市川絵理(千代中)、渡部美穂(千代中)、土谷隆之(城南中)、川久保輝(城南中)、小田原(千代中)

と不便ですから、良い場所を探して、いくつか図書館を作り、また今ある図書館分館を立派にして欲しいと思います。

もつと宣伝を 市内公共施設

木村 小田原市にはいろいろな施設がありますが、私たちの知らない施設が結構あります。施設の利用方法など、みんなが分かるように宣伝して欲しい。

また、既に存在しているが、昭和六十五年を目途に、関東学院大学が開校できるように準備を進めています。これはまちの文化を高め、活性化をねらった計画の一つです。大学誘致で更に大きな発展が期待できると思いますし、みなさんの進学にも貢献すると思っています。

小田原駅の東西通路実現は

伊藤 小田原駅東口のバスターミナルから西口の新幹線の方へ抜ける自由通路を作って欲しいと思います。

今日、お集まりいただいたのは、みなさんの声を直接お聞きして、まちづくりに役立つことを考えたからです。日ごろ考えていることを聞かせていただいで、将来の夢を更に膨らませたいと思っています。

子どもたちに 緑を残す開発を

野口 私たちの子どものころは、楽しく遊べる野原がたくさんありましたが、人口が増えるにつれてそういう所が減っています。まちづくりをしていくときに、そういう所を残すだけ多く子どもたちに残してあげたいと思います。

増えるにつれてそういう所が減っています。まちづくりをしていくときに、そういう所を残すだけ多く子どもたちに残してあげたいと思います。

小田原城の全国的なPRを

杉崎正義 小田原城は小田原の誇りなので、それを全国的にPRしたらいかがですか。それに小田原城を市民が誇りに思うことが大切です。そこで、小田原関係の本なども出ていますが高価です。簡単な冊子を市が無料で市民に配布して、みんなに分かってもらうことが大切だと思います。

市役所のPRになるようなパンフレットの配布方法については検討したいと思っています。ところで、市では石垣山の一帯城跡をこのほど買収し、歴史公園として整備します。そうすると、全国広しといえども城跡が二つ、しかも敵と味方の城跡が一つずつあるまちは全国に例を見ません。城の二つあるまちとして大いに宣伝して欲しいと思います。

小児まひの 予防接種を

■秋期小児まひ生ワクチン接種
▽対象 生後三か月～四歳未満で二回接種を完了していない乳幼児
▽日程・会場 十月一日(木) 酒匂公民館 二日(金) 中曾根公民館 五日(月) 市役所大会議室(七階) 六日(火) 下府小学校 校体育館 七日(水) 豊川公民館 八日(木) 橋支所 九日(金) 市役所大会議室(七階)
▽時間 各日午後一時三十分～二時三十分
▽持参する物 母子健康手帳、印鑑 ※接種出来ない幼児、接種間隔については健康カレンダーをご覧ください
◆問い合わせ 市民健康課 健康係 ☎1691

分かりやすい まちの案内を

椎名 小田原にはまちの案内板がほとんどありません。特に、富水・栢山地区の二宮尊徳の遺跡は、ほとんど地図がないので分りにくい。また、小田原に住む外国人も多いため、外国人向けの案内を

歩く案内が少ないと思います。市長ガイドマップ的なものは結構作っていますが、みなさんのお手元まで届いていないようです。教育長 二宮先生関係の遺跡案内は、早急に分かりやすい案内を富水と栢山の駅に設置したいと考えています。

中学生の試合 結果を広報紙に

土谷 広報おだわらには、小学生のポトボールやソフトボールの記事が載っていますが、中学生の試合の結果も載せて欲しいと思います。

市役所大会議室(七階) 六日(火) 下府小学校 校体育館 七日(水) 豊川公民館 八日(木) 橋支所 九日(金) 市役所大会議室(七階) 各日午後一時三十分～二時三十分

市役所大会議室(七階) 六日(火) 下府小学校 校体育館 七日(水) 豊川公民館 八日(木) 橋支所 九日(金) 市役所大会議室(七階) 各日午後一時三十分～二時三十分

第18回市民教養大学講座

「かけがえのない地球」をテーマに

会場 中央公民館
日程と内容 表のとおり
対象・定員 市内在住、在勤又は在学している十六歳以上の方 五百人
受講料 無料

会場 中央公民館
日程と内容 表のとおり
対象・定員 市内在住、在勤又は在学している十六歳以上の方 五百人
受講料 無料

必ず受診を 就学時健康診断

来年度の小学校入学予定者(昭和56年4月2日～57年4月1日生まれの方)を対象に11月中旬に「就学時健康診断」を行いますので必ず受診してください。

10月4日に 不用品即売会

市消費者の会では、「ムダをなくし物を大切にしよう」という趣旨で不用品即売会を開催します。今年は一宮尊徳生誕二百年です。「儉約」の心を生かすため、多くの品物をお寄せください。みなさんからの出品をお待ちしています。また、即売会には是非お出掛けください。

障害者のスポーツ レクリエーション

障害者スポーツレクリエーション大会が、市中心障害者福祉団体連絡協議会の主催で次のとおり開催されます。

老人趣味講座 作品展を開催

市では、60歳以上のお年寄りを対象に各種の趣味講座を実施しています。また、これらの講座を修了された方の中から、その後も制作に励んで

大工さんの証明書等を添えて法務局に建物滅失登記申請をして下さい。この申請をしませんと来年度も引き続き課税されることとなります。

また、何らかの理由で登記していない家屋を取り壊した場合、資産税課に必ずご連絡ください。

知識のくら

巧な勧誘の「士商法」

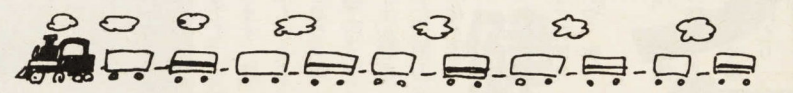
はつきりした対応が大切です

「士商法」とは、資格取得に関するさまざまな悪質な手口を用いた商法のことと並んでいます。その後電話がで、例えばある会社が作った全く私的な資格を「近々国家資格になる。今ならこの講座を受講するだけで資格が取れる……」などと偽って勧誘するといったものです。「〇〇士」という名称が用いられることが多いため「士(さむらい)商法」と呼ばれています。

◆「士商法の特徴」
まず、勤務先に「親展」の朱印が押してあるダイレクトメールが送られてきます。封筒の中は講座の案内で、大げさなあいさつ文や推薦状などが同封されて十萬〜三十万円の受講料を

ており、有名な大学教授や評論家などの講師陣の名前がズラリと並んでいます。その後電話が「士商法」大切な事前の確認が「〇〇士」といった資格ばかりでなく、ビジネスマンや公務員向けの法律・財務・行政管理などの講座についても同様のトランプが寄せられています。相手のペースに乗せられないようはつきりした対応が肝心です。申し込み前に勧誘内容について官庁などに聞いてみたり、周りの人たちに意見を聞いてみるといった慎重な態度が大切です。

◆問い合わせ
○市民生活課 ☎331398
○県消費生活センター ☎221151



《市民教養大学講座日程と講師》

	第1回	第2回	第3回
日時	10月7日(水) 18:30~20:30	10月14日(水) 18:30~20:30	10月21日(水) 18:30~20:30
講師	NHK特集 「地球大紀行」 取材スタッフ	東京大学 教養学部教授 理学博士 濱田隆士	NHK特集 「地球大紀行」 取材スタッフ

奮って出品してください

老人作品展作品募集

◆会場 中央公民館
◆募集作品 書道、絵画、手芸、彫刻、俳句、短歌、盆栽、その他
◆応募資格 市内にお住まいの60歳以上の方
◆搬入 11月25日(水)午後1時〜3時に直接会場へ
◆搬出 11月28日(土)午後1時〜3時に直接会場へ
◆申込み 出品希望の方は10月20日(火)までに、各地区の老人クラブ会長へ
◆問い合わせ 社会課老人福祉係 ☎331864

◆会期 11月26日(木)〜28日(土)
◆申込先 中央公民館二階事務室
○申込みは先着順です
○申込みは先着順です
◆問い合わせ 中央公民館 ☎5300

連載随筆 徳尊宮二

小田原の仕法II

高田 稔 (元・市教育研究所長)

《第6回》

二宮金次郎は、小田原領の農村のほかに小田原宿の商人へも救済の手を差し伸べている。

徳川の中期以降、庶民の間に「伊勢参り」など全国的な旅行ブームが起こっているが、小田原宿はかえってさびれる一方であったという。それは大名の参勤交代の宿泊が多いためか一般の宿泊が少なく、また宿場に遊興施設(飯盛女など)がないことも原因とされている。

その上に、宿場の各町へは人足役(百人)、伝馬役(馬百疋)の負担があった。これが時代が進むにつれて馬代金や人足抱え賃の値上がりによ



り負担しきれず、ほかからの借金が増えて宿場の衰微は一段と進んだ。

金次郎に対して小田原宿にも領内農村同様に仕法の実施を懇請した。しかし、仕法は元来農村の復興を目指したものであったからそれは許されず、その代わりに、金次郎は希望者だけによる結社の方法を教え、その資金として百六十両を貸与した。

金次郎は、天保期に入ってからかつての五常講の「五常」に代えて「報徳」という人道理論を打ち立てていった。(後述)三人は、この報徳の二字をとって「小田原報徳社」という金融組織を同志十九名とともに作った。

資金の貸付けは、先の百六十両と社員が質素儉約により

生み出した金を基に、入札によって十八か月賦や三十六か月賦など短期貸付を無利息で行うことにした。農村では、一般に五年賦、十年賦の貸付けであったが、商家没落の危険性が農家より高い当時の実情を考慮しての短期融資であった。

また、弘化二年末から三年にかけて、酒匂川左岸三十三か村仕法で藩の役所と金次郎の間に対立が生じたとき、彼はその居宅を村民代表の郷宿に提供し、江戸の金次郎への連絡係も勤めた。さらに幸右衛門は、金次郎の教誨によって、賤業とされる「飯盛渡世」から「河原湯渡世」へ転業を図ろうともしている。ここには、金次郎への傾倒を示す実直な商人像を見ることが出来る。

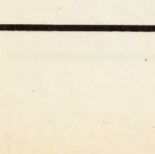
弘化三年、幸右衛門の借財百八十三両は、五年後には完済される見込みとなっていた。ところが三年後の嘉永元年、

天保十一年の春、金次郎を迎えた曾比村にも大勢の農民に混じって小田原宿の一丁田町、代官町の商人の姿が見られた。あわよくば、金次郎から資金の融通を受けようとの期待があったのであろう。しかし、これが実現をみたのは天保十四年のことである。

この年、欄干橋町の竹本屋幸右衛門、尾島屋忠次郎、高梨町の百足屋孫七の三人が、

この報徳社の中心人物竹本屋幸右衛門は甲州出身で、飯盛女を抱える旅籠業であった。この飯盛女は、赤字の宿場再建の手段として小田原藩がようやく文化三年に認められたものである。幸右衛門は、「元来賭博等ヲナシカツテ良カラヌ行為アリ」など風評芳しからぬ人物とされている。しかし、金次郎の助力によって報徳社設立後は「小田原宿」仕法手堅く取計い幸右衛門儀も仕

彼は病死した。幸右衛門の協力者尾島屋忠次郎は地元飯泉村生まれで、当時荒物商であった。彼は幼少の時から労苦を重ね、しばしば流転し、ようやく小田原に戻り、金次郎や幸右衛門の協力によって一家をなしたが、病弱のため借財が百十五両と治に至るのである。(後述)



菓子屋多喜蔵(2代目)が小田原報徳社から9両借りた証文(里見良一氏蔵)

北方の領土かえる日 平和の日

おしらせ

《引取場所と時間》

引取場所	時間
片浦支所(寺山神社)	9時30分
早川支所(駅前駐車場)	9時55分
大窪支所	10時10分
中央連絡所(めがね橋)	10時30分
市役所(西側駐車場)	10時50分
富水連絡所	11時15分
桜井支所	11時35分
曾我支所	13時00分
下曾我支所	13時20分
上府支所	13時35分
豊川支所	13時55分
下府支所	14時15分
酒匂支所	14時40分
国府津支所	15時00分
橘支所	15時20分

飼えない犬猫 引き取ります

9月の引取日は25日(金)時。間と場所は表のとおり。次のことに注意してください。

①印鑑を忘れずに②停車時間は10分間です。遅れないように③猫は麻又は布袋等に入れて④14日以内に人をおかんだ犬は引き取りません。その犬が人をかんだことを保健所へ連絡を⑤大型犬、傷病犬猫人をかむくせのある犬は直接県動物保護センターへ。

135内線31・32

生活環境課 ☎331486
保健所環境衛生課 ☎223

不動産登記の申請はお早めに

田、畑、山林を宅地などに地目変更したり、家を新築増築又は取り壊し(滅失)された方は、1か月以内に法務局に登記申請しなければなりません。

市では、法務局の登記簿に基づいて固定資産課税台帳を変更し、毎年固定資産税を課税しますので、登記手続きは早めに済ませてください。

特に、今年になって家を取り壊した方は、取り壊した

ご利用ください 市の融資制度

市内の中小企業者を対象に融資を行っていますのでご利用ください。

◎中小企業小口資金
◆運転資金 貸付限度額300万円 期間4年以内(6か月据置き) 年利5・0%
◆設備資金・運転設備併用資金 貸付限度額500万円 期間5年以内(6か月据置き) 年利5・2%
◆資格 ①市内に1年以上居住し、1年以上同一事業を継続して営んでいること
②市税を滞納していないこと
③返済能力があること
④この資金の保証人になっていないこと

◆問い合わせ 商工課商業係 ☎331511

◆問い合わせ 横浜地方方法務局 小田原支局 ☎230118
1 市役所資産課課賦係 ☎331361

わたしの提案

◎国際交流を活発にしよう



交流を活発に (チュラビスタの青年と市長が懇談)

さん(35歳) 今回、アメリカにある姉妹都市チュラビスタ市へ代表三人が派遣されましたが、横浜市のように、人数、年齢等の枠を広げ、自費参加で活発な交流を図れないものでしょうか。

また、国内の姉妹都市との交流にも同じようなことができないものでしょうか。

以上のような状況ですが、今後はみなさんと市役所とが協力あるいは役割分担して有意義な交流を図っていきたく考えております。

■外国との交流ができるような施設をつくってくださ(い)橋橋 竹部哲也くん(11歳)

◎お答え 私たちの周りには国際化、情報化の波が絶え間なく打ち寄せています。科学技術の開発は日進月歩で、遠い外国とも短時間で連絡できるようになりました。そして二十世紀には、外国の人々ともっと密接な付き合いをしなればならないと思います。

言葉や習慣が異なっても、日常の交流を通じて理解と友情を深めていくことが大切なことで、このようなことから外国や外国人との交流ができる場を設けることは重要なこととす。

県の施設では国際研修センターが横浜にあります。小田原市内には、MRAアジアセンターなどの民間の施設だけでなく、市につくったものはありません。今後、既にある施設の活用を含め、国際交流の場を提供するような方法を検討したいと思っております。

「わたしの提案」にはみなさんから、たくさんのお返事をいただいておりますが、その中から国際交流についての提案をご紹介します。

■姉妹都市との交流の枠を広げて (国府津 吉野光子)

◎お答え お寄せいただいたご意見は、小田原海外市民交流会の事務局となっている市の文化室でも検討しております。

国際化が進むなかで、相互交流を活発にさせていく

ぼくの学校 わたしの学校

千代中学校 《27》



運動系の部の活躍は真剣な練習から生まれます

私たちの千代中学校は、東西に緑の山々が連なり、周囲は田畑に囲まれ、空気が澄み、たいへん自然に恵まれた環境の中に位置しています。

四十年の歴史をもつ千代中も今年、新校舎が増築され、また、新入生から新しい制服に変わる等、少しずつ新たな変化がおこりつつあります。

我が校の部活動は非常に盛んで、各部とも熱意をもって活動に取り組んでいます。運動系部の活躍は真剣な練習から生まれます

昭和二十二年四月一日 開校年月日
学級数・生徒数 二十四学級・千四百八十八人
教職員数 四十二人

動系の部の活躍はめざましく、市内の大会での上位入賞は毎年のこととす。なお、文化部の活躍も運動部に劣らず、毎年数々のコンクールで入賞を果たしています。

また、千代中では一年のうちにも多くの行事が行われます。その中の大きな行事として、九月の運動会があります。徒競走や組み立て体操もさることながら、三学年をクラス毎に分けたブロック別で行うアップロック応援は、三年生が知恵を絞って工夫を凝らし、迫力ある応援で運動会に花を添えてくれます。

そして、もう一つの大きな行事、十月の文化祭は例年素晴らしい作品展示や、演劇が行われています。

今年度の文化祭は、「想像がつくりだす創造の祭典」というテーマにそって演劇や展示を行うという方針になり、より素晴らしい文化祭になる

(生徒会本部)

おしらせ・おしらせ・おしらせ

給配水管の漏水調査にご協力を

水道部では、給水管や配水管が漏水していないか調査をしております。来年3月15日まで、市街地の漏水調査を業者(株)ニッシン水道研究所へ委託して行いますので、調査員が宅地内に立入る際はご協力をお願いします。9月は扇町、久野方面の区域を調査します。

水道の修理は修理センターへ

家庭の蛇口故障や水道管破裂などの修理は、管工事協同組合の水道修理センターへ。特に希望のある方は公認業者に直接申込みを。

公認業者以外には修理できません。

公道内の水道管は市が無料で

伝言板

総合相談会を開催 国県市合同で

県小田原合同庁舎で次のとおり総合相談会を開催します。この相談会は、国県市町の合同で開催するもので、相談内容は、国や県、市、町への要望、苦情、意見、また弁護士、法律相談や専門相談員の年金・税金相談、その他心配事など、相談はすべて無料で、個人の秘密は厳守します。

日時 11月8日(日)

英文の検定試験を行います

英文検定試験を 商工会議所で

商工会議所では次のとおり英文の検定試験を行います

日時 11月8日(日)

低肺機能障害の方へお知らせ

昭和20年代から30年代にかけて結核治療のために人工気胸、胸部成形、肺切除を受けた方、又はその他呼吸器系疾患をお持ちの方にお知らせします。

高齢化の進む中で、結核は治っても、新たに肺の力の低下からくる「低肺機能と呼吸不全」が危険な後遺症として増加しています。

階段や坂道で息切れを感じ

その場で指導しますのでご協力ください。

調査員は腕章を付け、身分証明書を所持しています。

◆問い合わせ 工務課 ☎16667

で修理します。漏水箇所を見つけたら工務課維持係へ連絡してください。

◆蛇口パッキンの取り替えは自分でできます。公認業者か水道材料店でパッキンを買ひ、メーター器内の止水栓を止めてから修理を。

◆橋地区は県営水道です。詳細は県企業庁水道局二宮営業所(☎0463⑧111)へ連絡を。

◆問い合わせ

○水道修理センター ☎720

○工務課維持係 ☎16667(夜間☎2554)

の申出は本人だけでなく、家族の方もできます。

◆返還する通貨・証券など

○終戦後、外地から引き揚げてきた方が、上陸港の税関や海運局に預けた通貨・証券など

○外地の集結地で総領事館などに預けた証券などのうち日本に送還されたもの

◆問い合わせ 横浜税関相談官室(〒231横浜市中区海岸通1-1) ☎045・201・4981

◆申込み 9月28日～10月15日に商工会議所へ申込みを。

◆問い合わせ 商工会議所 ☎1811

小田原労働センターでは次のとおり、初心者対象の太極拳教室を開きます。

◆日時・会場 10月1日～11月19日の毎週木曜日8時、午後6時～8時 小田原労働センター

◆対象 勤労者及び一般30人

◆受講料 無料

◆用意する物 体操着、運動靴

◆講師 佐々木悦子さん(楊柳ヨーガ研究所インストラクター)

◆申込み 労働センター ☎3557

税関では終戦当時の引揚者から預かっている通貨・証券などを返還しています。返還

◆申込み 労働センター ☎3557

◆日時 9月26日(土) 午後1時30分 開場11時

◆会場 市民会館小ホール

◆内容 記念映画「東西南北〇にせうろう」

—二宮尊徳の世界—

◆シンポジウム(午後3時から) 講演「幕末の世相」大石慎三郎 学習院大学教授、「大久保忠貞と尊徳」佐々井典比古報徳博物館館長、「明治のまぢおこし」金原左門中央大学教授

◆入場料 無料

◆定員 先着300人まで

◆主催 小田原市、市教育委員会、市文化団体連絡協議会

◆主管 市文化団体連絡協議会

◆問い合わせ ☎337-11 社会教育課

二宮尊徳生誕200年記念 第34回市民文化祭前夜祭

いま、なぜ尊徳

◆日時 9月26日(土) 午後1時30分 開場11時

◆会場 市民会館小ホール

◆内容 記念映画「東西南北〇にせうろう」

—二宮尊徳の世界—

◆シンポジウム(午後3時から) 講演「幕末の世相」大石慎三郎 学習院大学教授、「大久保忠貞と尊徳」佐々井典比古報徳博物館館長、「明治のまぢおこし」金原左門中央大学教授

◆入場料 無料

◆定員 先着300人まで

◆主催 小田原市、市教育委員会、市文化団体連絡協議会

◆主管 市文化団体連絡協議会

◆問い合わせ ☎337-11 社会教育課